

お楽しみ会

1 A病棟 小嶋映子

5月26日(水曜日)春のお楽しみ会で映画鑑賞を行いました。午前中準備用にDVDを流すと興味深々で観ていて、午後は何を観るのか聞いてくる利用者の方もいましたが、お楽しみということで内緒にしていました。本番、ドラえもん「新恐竜」を観ました。利用者の皆さまは車いす、ベッド、床に降りてマット上などで、それぞれ自分にとって快適な体勢で参加しました。スクリーンを使い大きな画面で観たので迫力があり、利用者の皆さまも食い入るように観ていました。楽しい場面では笑い声が聞かれましたが、最後まで真剣に観ていました。終了後、楽しかったかお聞きすると、皆さま表情よく笑顔でうなづいたり、手を挙げて快発声をあげていました。110分の映画だったので行事の時間より早めに始め、最後まで上映することで、達成感もあり、利用者の皆さまも職員も一緒に楽しむことができました。



総合防災訓練

庶務担当 杉浦裕之

当センターでは年2回、府中消防署職員立会いのもと総合防災訓練を行っており、6月22日(火曜日)、第一回総合防災訓練を実施しました。

まず、3階病棟において日中時間帯に火災が発生したという想定で防災訓練を行いました。病棟では、事前の練習を何度も重ね、当日は初期消火や利用者の避難誘導についての確に行うことができました。

次に、地下駐車場において放水訓練、防災教育を実施しました。消防署職員の方々の御指導のもと、消火器や消火栓の使い方を改めて学び、実際に使用して、火災発生時の対応について確認を行いました。

今回、府中消防署の方々から、丁寧に御指導いただきました。今後も毎月行う訓練等を通じて、非常時に対応できる力を向上させていきます。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第523号 発行日 令和3年7月31日

夏のお楽しみ会

2 B病棟 植松晶子

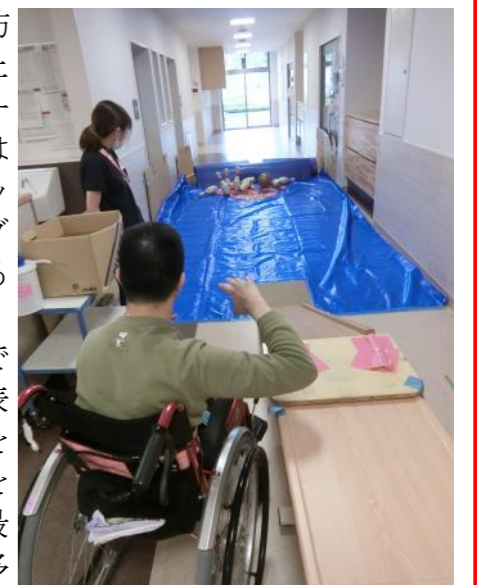
7月7日(水曜日)、2 B病棟ではソーシャルディスタンスを保ち、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、ボランティア“Ha・lau・N・Lei・O・ka・lehua”の方々をお迎えして、フラダンスの観賞をしました。1年ぶりの催しに利用者の皆様は「何が始まるのかな？」と興味津々の様子。ハワイアン音楽が流れ、ダンスが始まると、ステージに注目され楽しそうな声が出たり笑顔がみられました。「涙そうそう」のハワイアンバージョンや日本語の歌詞の曲は親しみやすく、よりいっそう楽しそうな様子でした。前回は、利用者の皆様にも職員にも大変好評だったと聞いていましたが、今回も、終わった時にはどの利用者の皆様も穏やかで満ち足りた表情をされていて、フラダンスによって癒されたひと時を過ごすことができました。



夏祭り

1 A病棟 高橋奈実

7月7日(水曜日)に1 A病棟では、新型コロナウイルス感染防止対策として、ソーシャルディスタンスを保ち、感染防止に努めながら、夏祭りを行いました。内容としては、ボーリングとシューティングゲームを行いました。病棟内では夏祭り気分を味わうために、壁面や天井から折り紙のハッピーや提灯をつるし、雰囲気作りを行いました。ボーリングでは、手や腕でボールを押し、ボウリングのピンが倒れる音と共に大きな歓声が上がり、大変盛り上がりました。シューティングゲームでは、花紙を的に見立て、水鉄砲で撃ち落とすゲームを行いました。狙いを定め、的に狙う表情はどの利用者も真剣な顔でした。水鉄砲が終わると手を挙げて喜ぶ様子や、まだやりたい様子でなかなか水鉄砲を離さない姿がみられ、楽しんで行うことが出来ました。最後に全員集まり、結果を発表すると、快表情や快発声が多く聞かれ、楽しい夏の思い出の一つが出来ました。



運動会

2 A病棟 大塚好雄

2 A病棟では6月30日(水曜日)、デイルームとスタッフステーション前の広いスペースを使い「運動会」を実施しました。

室内の天井を埋め尽くす無数の風船が幻想的な光景を醸し出し、利用者の視線を集めました。この日はカラフルなゴム風船にヘリウムガスを充填し、カラー写真などをパウチしたカードを結び付けて宙に放ったのです。カードの元はチラシ広告やカタログ雑誌などで、利用者の興味を惹きそうなもの、好みに合いそうなもの、そして何より見て楽しそうなものなどを選び集めて切り抜きました。



運動会の第一部のゲームでは「借り物競争」を行いました。利用者の皆さんがスタッフと一緒にランダムに置かれた「お題」のカードをそれぞれ引き、そこに書かれた内容にぴったり合うと思うカラー写真のカードを制限時間の30秒で探してくるゲームです。「好きなもの」というお題から、「鰻の蒲焼」や「天ざる定食」などのカードを引いて来られた方や、「可愛い」というお題から「女優の〇〇さんの写真」や「シロクマのイラスト」を引いてくる方がいて、紹介のたびに歓声が沸き起こりました。利用者スタッフの個性が入り混じった思いもかけない展開をもたらした楽しいゲームでした。

第二部では「パン食い競争」ならぬ「お菓子食い競争」を行いました。カラフルなテーブル

の先にはスナック菓子の小袋、ジュースなどが吊り下げられています。利用者はスタッフと一緒に車椅子や歩行にてお菓子を目指して進みます。しかし、いたずら好きな仕掛人スタッフにより、お菓子も少し逃げないように後退するため、そう簡単には取れないシステムです。ようやく手にしたお菓子は利用者の皆さんのものとなりました。安堵したように握りしめる方や、嬉しそうに笑顔を見せる方がいらっしゃいました。

梅雨空の元での室内運動会は、2 A病棟の利用者の皆さんの笑顔と歓声がたっぷりの楽しい行事となりました。



バスハイク

3 A病棟 青柳絵理子

6月2日(水曜日)、当初、「府中市郷土の森」を予定していましたが、あいにく、朝から降ったり、止んだり、梅雨の真ただ中らしい天気になってしまい、行き先を「府中方面ドライブ」に変更しての半日バスハイクとなりました。大型バスを貸し切り、車椅子で乗り込むと、皆さん、「どこへ行くのかな？」と期待でいっぱいの様子。バスの中のメンバー紹介でも、口を動かしたり、手を動かして応えています。バスは、センターを出発後、南武線の踏切で長い貨物列車に遭遇しました。また、モノレールの高い線路を下から眺めていると、タイミングよくモノレールも通り、皆さん大喜び。多摩川の大きな橋を渡ると日野市に入りました。ぐるっとまわり、再び、多摩川の橋を渡って帰り道へ。すっかり恒例になった、今日のメンバーの「利用者さんクイズ」で大いに盛り上がったところで、懐かしい旧センターを眺めて帰って参りました。雨も途中から、すっかり止み、初夏の車窓を楽しみながらの1時間のドライブでした。



バスハイク

3 C病棟 宮永帆海

6月23日(水曜日)に半日バスドライブを行い、利用者3名が参加しました。三鷹市にある「星と森と絵本の家」を目的地としていましたが、緊急事態宣言の影響の為、国立天文台周辺までのドライブに変更しました。利用者3名の中には初めてバスドライブに参加する利用者もあり、バス乗車前から楽しそうにしている様子が見られました。



バスに乗車すると、運転手の方が車内にアジサイの花を装飾してくださり、とても華やかな雰囲気となっていました。当日は途中より大雨になったバスドライブでしたが、バス内のアジサイ装飾やバスに当たる雨音で季節を感じることが出来ました。車内で国立天文台や星と森と絵本の家など様々な話をすると笑顔や穏やかな表情、発声や手足を動かしたりされ、楽しく参加されている様子でした。

今回は新型コロナ感染拡大も収まり、実際に「国立天文台」や「星と森と絵本の家」を散策したいと思います。